



平成25年10月23日(水)、名古屋市教育センター講堂にて、名古屋市情報教育研究会研究発表大会が開催されました。研究部の発表内容についてお知らせします。

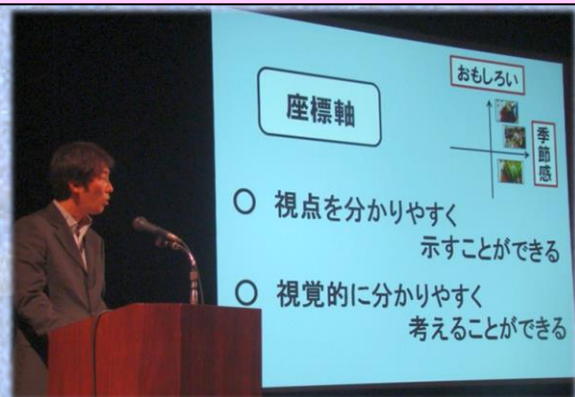
「共に学び、確かな学力と豊かな心を育む情報教育」

－情報活用能力の育成とICTを活用した分かる授業の実現を目指して－

研究主題も3年目を迎えました。研究発表では、過去2年間の取り組みを振り返ると共に、多くの実践の中から特に4人の実践を選んで詳しく紹介しました。

情報活用能力研究部

「共に学ぶ活動を通して情報活用能力を育成する学習の探究」



井上 陽介 先生 (大須小) 2年・生活

町に出掛けて人々の暮らしを見つめ、夏を見付ける活動を行った。見付けた情報を、季節感・おもしろさという二つの座標軸を使って仕分ける作業を行ったことで、グループでの話し合いが活発になった。集めた情報の新しいよさに目を向けることができ、新たな気付きを生み出すことができた。

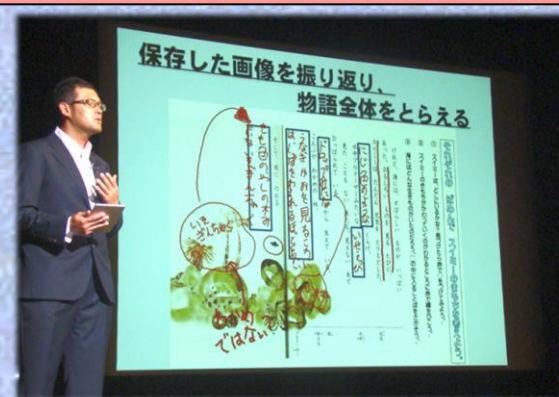


濱地 啓史 先生 (榎小) 5年・道徳

学級で作った「写真日記」を毎日廊下に公開、掲示し、付せんで誰でも感想を書き込めるようにした。読み手の感じ方や思いを知ること、思いやりの心をもって日記を作れるようになった。日記から気付いたことを話し合う授業を行い、情報を発信する時のルールやマナーを考えることができた。

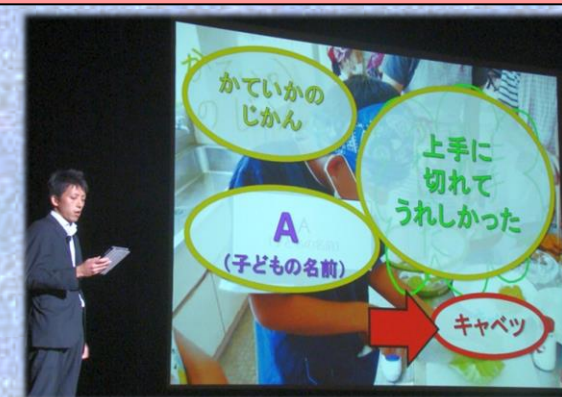
ICT活用研究部

「教科指導において、ICTを効果的に活用した指導法の探究」



堤 信二 先生 (明德小) 2年・国語

新出漢字の電子教材を電子黒板で投影した。書き順を繰り返し見たり、字形をなぞったりしながら丁寧に漢字を書く様子が見られた。物語の読み取りで、教科書の挿絵を電子黒板で投影した。登場人物のせりふや気持ちを挿絵に書き込み、場面の様子を理解させた。保存機能を使って次時につなげた。



丸山 和也 先生 (徳重小) 特支・国語

調理実習の様子をデジタルカメラで撮り、後で電子黒板で投影して活動を振り返った。拡大機能や書き込み機能を活用したことで、細かな手作業やその時の気持ちなどを思い出すことができた。調理中の気持ちを友達に伝える場面でも、電子黒板を活用し、自信をもって伝えることができた。

■平成25年度 教育研究派遣員

小川 拓也 先生 (稲葉地小)

「互いに認め合い、個々のよさを尊重できる児童の育成 ～ハッピー写真を使って～」

若林 佑 先生 (志段味西小)

「発表って楽しい！ -自分の思いを表現できる子を目指して-」

安田 琴美 先生 (西山小)

「情報を正しく収集し、発信できる児童の育成 ～情報モラル教育を通して～」

大島 創平 先生 (名東小)

「相手を踏まえて情報発信することができる子どもの育成」



■目覚めよ！情報機器 ②「デジタルカメラ」

教室にカメラと液晶画面付きプリンタを常備するとPCなしで印刷できます。

- ・**体育で活用**…自分の体の動きを客観的に見られます。動画機能も有効です。
- ・**図工の作品**…写真付きの作品カードは記念にもなります。評価にも生かれます。
- ・**板書を記録**…係決めや席替えの結果、児童の発言などをボタン一つで記録できます。
- ・**観察記録**…植物の成長、虫やメダカの成長、雲や影の動き、実験結果などを記録できます。
- ・**生活を記録**…行事の後は記念写真。毎日交代で写真日記を作っても楽しいです。



活動報告、ICT活用、授業のアイデアなど、詳しくは
名情研Webページで！ <http://www.meijoken.com/>

名情研

検索